

多古町に生きる 新世代の目線から見た未来



町の魅力を効果的にPRすべき！



山本 美波さん

図書館や文化ホール、町民体育館など、施設が充実しているところが多古町の魅力です。

町の魅力を伝える手段として SNS などがありますが、SNS は話題にならないとなかなか広まりません。話題性を持たせるためにも町の強み、PR ポイントをはっきりさせ、効果的な PR をすることが町の発展につながると思います。

子育てだけでなく安心して出産できる環境を！



吉川 佑輔さん

多古町は子育ての町として PR していますが、多古町には産婦人科がありません。子どもを育てる環境だけではなく、安心して子どもを産む環境を整えることも重要です。

また、多古町の魅力を「たこ？どこ？ここ！」のような面白いフレーズや、印象に残る動画などで発信していければ、若い世代が集まってくるのではないのでしょうか。

自然と共存する町モデルコースのPRを！



橋爪 裕司さん

栄えているところと自然が豊かなところが共存していることが、多古町の魅力だと感じます。

その反面、多古町に来た方がどのよう多古町を楽しめばいいかが分からない場合があります。自然豊かな魅力を体感できるモデルコースなどをもっとPRすることで、より多くの人を引きつける町になるのではないのでしょうか。

長所を生かしたまちづくりを！



小川 魁友さん

自然が豊かなところが多古町の良いところですが、その恵まれた自然を生かせる場所がないと感じています。

最近では常磐地区に新しくグランピング施設ができるという話を聞き、そういった自然を生かすアトラクションであったり施設ができると、都市部からもっと人が訪れると思います。

魅力的なイベントや生産物のアピールを！



小野田 真咲さん

多古町は魅力的なイベントが多いことが強みです。

直近であれば多古米グランプリや多古米おかず選手権があり、こういった機会を利用して多古米をはじめとした町の生産物をPRし、魅力を発信していけたらもっと魅力的な町になると思います。若者は SNS をよく見るので、Instagram や YouTube、Twitterなどを活用していくべきです。

積極的な町外へのアピールを！



伊藤 公亮さん

多古町は人情味にあふれていて、都会と田舎が共存する「トカイナカ」として、とても魅力的な町だと思います。

しかし、町外では多古町の知名度は低く、まだまだPRする余地があると感じます。ゆるキャラグランプリで全国8位に輝いたふっくらたまごさんなどを活用し、町の魅力を発信していくことが必要だと考えます。

強みを把握し効果的なPRを！



塚田 豪さん

多古町は空気もお米もおいしいところが魅力だと感じています。

他にもさまざまな魅力、強みがあると思いますが、町をPRしていく上で、一つ強みをはっきりさせて発信するべきではないのでしょうか。どの層に需要があるのかをしっかりと把握、分析することが重要だと思います。

若者目線のまちづくりを推進！



富山 聖さん

多古町は静かでのんびりとしていて、とても良いところだと思います。

ただ、気軽に入ることができるお店が少なく、町外のお店を利用する方も多いように感じます。若者でも気軽に利用できる飲食店やおしゃれなカフェなどを誘致し増やしたりすると、人口増加につながるのではないかと思います。

SNSを活用した魅力的な情報発信を！



椎名 りおさん

多古町は今年に入りTwitterを始めたこともあり、SNSに力を入れていますので、この他にもTikTokなども活用し幅広く魅力発信をすれば、より若者に魅力を伝えることができると思います。

町内で新しくできた飲食店の情報なども発信できたら、多古町に来てみようと思う方が増えるのではないのでしょうか。

未来を切り開くチカラ 新世代

これからの担う
若者たちの声で
明日へ羽ばたく



—まちづくり意見交換会—

町では皆さんから意見を広く聴き、それらの意見を町政に反映させ、透明性のある町政を目指すため、まちづくりに関する意見交換会を開催しました。第一回目は、今年度20歳を迎える、成人の日記念式典実行委員会委員の皆さんが参加し、平山町長と町の未来について意見交換を行いました。

意見交換会では、現在町で取り組んでいる施策や、現状に対し、たくさんの意見が出されました。

実行委員の皆さんは、改めて感じる多古町の魅力や、その魅力を発信するために必要なことを若者目線で提案し、それぞれが考える多古町の未来を語り合いました。



施策の説明をする平山町長



多古町の未来について意見を出し合う実行委員の皆さん